

ガウロンセン

参加人数 : 2人

設計力 (頭) : ★★★

建築力 (腕) : ☆☆☆

仕事運 (運) : ☆☆☆



木屋區

中華人民共和国の樹立によって、香港の新界地区に中国からの難民がなだれ込み、木造バラックを乱立させました。さらに過度の住民増加により、無計画な増築が行われ、木造のバラックは、鉄筋コンクリートのビルが乱立するようになり、後に「九龍城砦(ガウロンセン)」と呼ばれるようになります。

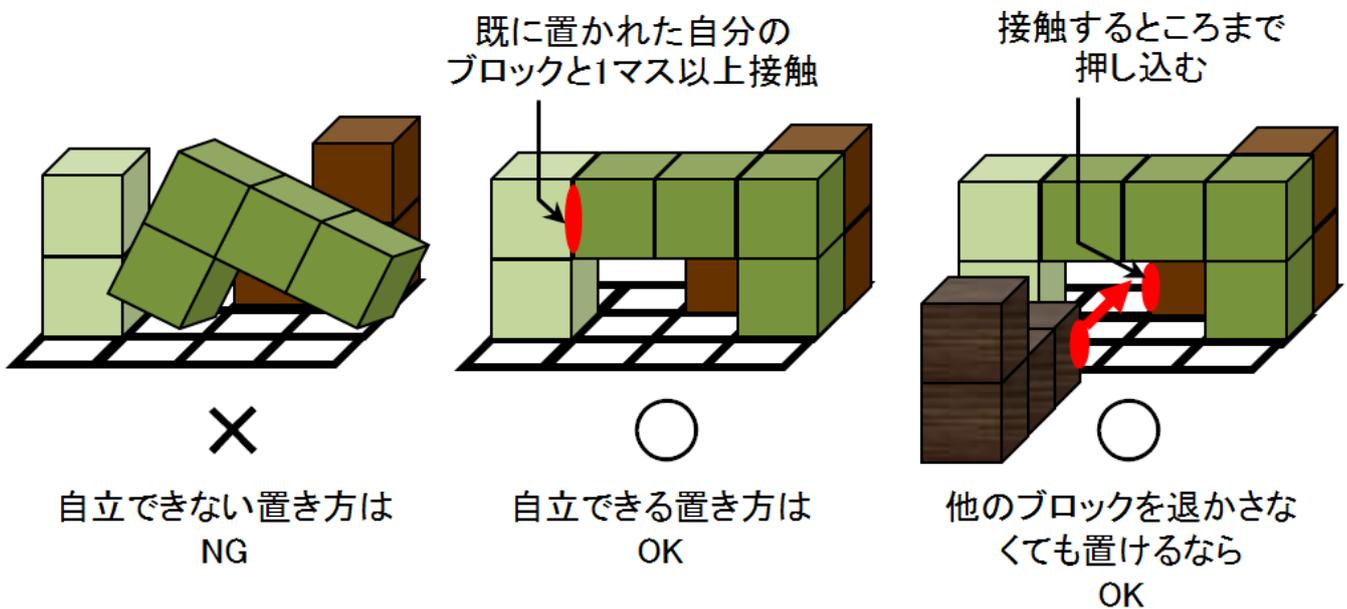
遊び方

ブロックを使った陣取りゲームで、より多くのブロックを置いた方が勝ちです。9×9の盤と、2種類の木材を使います。

ブロックはそれぞれ木材の種類ごとに分け、どちらを使うかと先手・後手を決めます。

先手は「1」、後手は「2」のマークにブロックの1マスが接地するように置きます。どのブロックを使用しても構いません。その後は、交互にブロックを置いていきます。置くときのルールは以下の通りです。

- ブロックは必ず、9×9のマス目をあわせて置くこと
- 1マスは自分のブロックと接触していること
- 2段より高くないように置くこと
- 自立できない（斜めになってしまう）置き方は出来ない
- 相手のブロックの上や下を跨ぐのは構わない
- 他のブロックを一旦退かして置く事は出来ない
退かさなければ、横から下に潜り込んで置くのは構わない



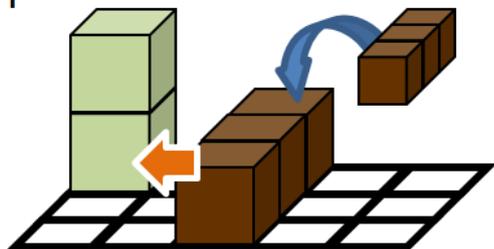
ブロックを置けなくなったらパスとなります。両者が置けなくなった時点で、両者が残っているブロックの合計のマス数を数えます。3マスのブロックが1つ、4マスのブロックが1つ残っていれば合計7、5マスのブロックが2つなら合計10と数えます。この数が少ない方が勝者となります。

もし、対戦する2人の間に力の差がある場合は、ゲームを始める前に、強い方にハンディーキャップとしてゲーム終了時に5マスや10マス加算することを決めておくといいでしょう。

勝利のコツ

ガウロンセンは、ブロックを使って常に敵陣に攻めるか、攻めてきた敵のブロックを防御するかを考え、選択していくゲームです。

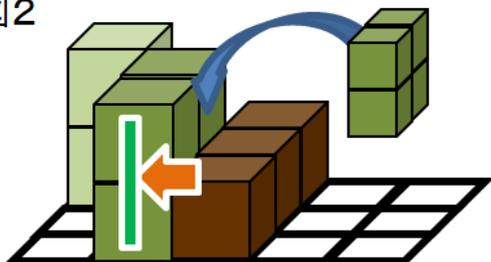
図1



例えば左側の緑と、右側の茶が対戦中で、図1のような状況で、左側に緑の陣地が右側に茶の陣地があるとします。

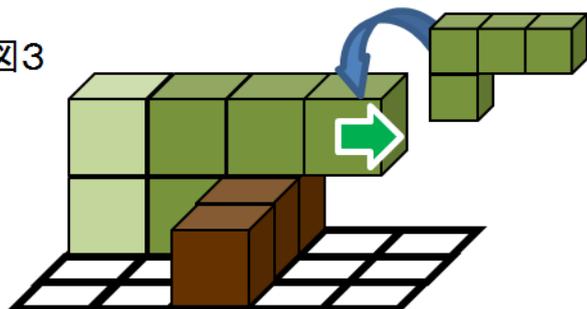
図1のように茶が緑の近くにブロックを置き、緑の陣地を狙ってきたとします。

図2



これに対して緑は手番で、図2のように2段のブロックを置き、壁を作って、これ以上先に茶のブロックが進めないように阻むことも出来ます。

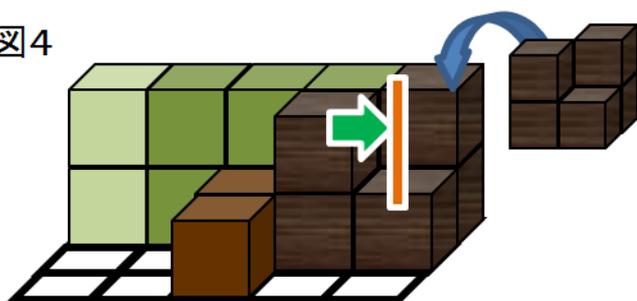
図3



逆に図3のように、細長いブロックを使って、右側の茶の陣地に攻め入ることも可能です。

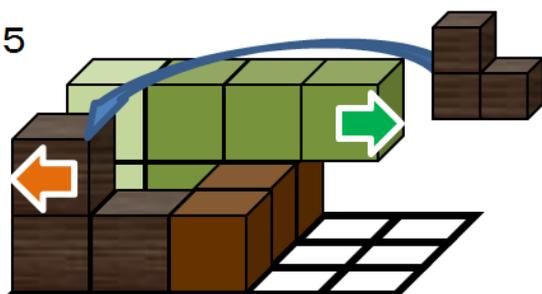
こうなった場合、今度は茶がどうするかを考える番となります。

図4



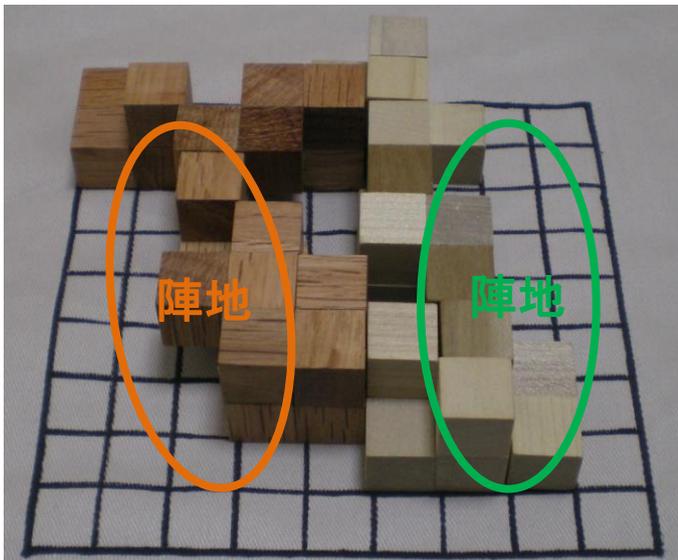
例えば、図4のように壁を作って、茶がこれより右に侵入してくるのを防御することも出来ます。

図5



逆に図5のように、捨て身でさらに緑の陣地に攻め入ることも出来ます。

このように常に防御するか攻撃をするか、どちらが有利かを考えながらブロックを置いていくと良いでしょう。



互いに防御を行った場合は、陣地が形成されます。最終的には相手のブロックが完全に侵入することが出来なくなり、残った自陣に 1 つ 1 つブロックを置いていくことになります。

相手より広く陣地を広げ、その陣地に有効的にブロックを置いていくことになります。

互いに攻めあった場合は、陣地が形成されず、両方のブロックが入り乱れた形になります。

大きいブロックを早めに置き、かつ相手が置き難くなるようにしていきます。



最後に…

一種類の木材のマス数の合計は 81 です、9×9 の盤も 81 です。二段置けるので計算上は、隙間無く置く事が出来れば、両者の全てのブロックが置ける訳です。実際、勝負を度外視して、パズルのように置き合う事で形的にも置けました。(実証済み)

しかし、勝負として行くと、隙間が出来、その分のブロックが置けなくなる訳です。

制作・発行

制作・発行：植民地戦争+α 千夜一葉

連絡先：

インターネットアドレス：

http://www.ac.cyberhome.ne.jp/~usa_neko/

Eメール : chiyakazuha@mail.goo.ne.jp

※スパムメール対策をしておりますので件名に

「樹ブロック」と入れて送信してください。

樹ブロック

検索

ホームページに、判りやすく遊び方の動画を掲載しています
そちらもご参照ください